

# 北九州市 児童福祉施設等 第三者評価結果票

## 1 施設・事業所の概要

- |               |                    |
|---------------|--------------------|
| (1) 事業者名(法人名) | 北九州市               |
| (2) 事業所名      | 黒崎保育所              |
| (3) 所在地       | 北九州市八幡西区南八千代町7番17号 |
| (4) 電話番号      | 093-631-0577       |

## 2 評価実施日

平成19年 2月 7日

## 3 評価実施者

北九州市(北九州市児童福祉施設等第三者評価委員会)

## 4 評価結果

### 総合評価

保育所は八幡西区黒崎の中心街から少し外れていますが、近隣には商店や消防署をはじめ、小学校、幼稚園、障害者施設などがあり、交通の便の良い住宅街に位置しています。園舎は平屋建てで採光が良く、十分な広さの園庭があり、どの保育室からも園庭に出られます。一人一人の子どもを大切にしながら、地域の文化や特性を生かした保育が積極的に行われています。

#### 子どもの発達援助

保育所保育指針を基に保育計画・指導計画が作成され、異年齢児交流や地域交流、保護者の要望、地域の文化や特性などを考慮した、園独自の一貫性のある計画となっています。子どもへの対応や援助の方法については継続的に話し合いが行われ、共通理解のもとに保育が実践され適切に記録されており、高く評価できます

健康管理や感染症マニュアルが整備され、適切な対応がなされています。嘱託医との連携も十分に図られています。

アレルギー疾患のある子どもの食事については、医師の診断書を基に子どもの状況に応じた除去食が提供されています。調理員は、保護者に対して給食試食会の開催や食に関する情報を掲載した「きゅうしょくだより」を配布しています。また子どもとは、食材や身体と食事の関係について会話をするなど、食への関心を高める取り組みが積極的に行われ、職員との連携も密に図られていることは高く評価できます。

各クラスには、年齢に応じた玩具や遊具で好きな遊びができるコーナーが用意され、くつろいだり落ち着ける空間への配慮もなされ、子どもたちはのびのびと生活や遊びを楽しんでいます。

0歳児から絵本の読み聞かせやわらべうたあそびなどを継続的に行うなかで、言葉の面白さや美しさに気づき、話す力や聞く力が育つよう配慮しています。異年齢児交流や地域の伝承文化、「もの」を大切に作るエコ教育などを保育に取り入れており、評価できます。

保育士は温かな言葉づかいでおだやかに話し、一人一人の子どもの発達や生活リズムに応じた適切な援助がなされています。乳児の保育についても温かく受容し、安全に配慮した家庭的な雰囲気の中で行われています。

職員は人権や性差についての研修に参加し、文化の違いや子ども一人一人の個性を大切に、違いを認め合い、互いを尊重する気持ちを育てる保育の取り組みが積極的に行われています。

#### 子育て支援

入所児童の保護者とは、連絡帳やクラスノート、各種の園だより、個人懇談などで連携が図られています。また、「子育て広場」などの活動は地域の育児支援としてその機能を積極的に果たしています。保育所や地域の児童虐待の早期発見に努め、関係機関との連携も適切に取られています。

#### 地域の住民や関係機関等との連携

地域住民や近隣の施設、関係機関との交流が積極的に展開され、地域に向けて広報紙を配布するなどの情報提供が行われています。北九州市が推進している幼保小の連携事業のモデル実施園として先駆的な取り組みがなされています。

#### 運営管理

保育理念や基本方針などが定められ、各所に掲示され周知が図られ、情報提供を含む情報管理が周知されています。また職員の研修への参加や、職員からの提案を活用して保育サービスの向上に向けて積極的に取り組んでいます。安全・衛生管理に関するマニュアルが整備され、危機管理に対する避難訓練も適切に行われています。

## 評価対象ごとの評価（概要）

### 子どもの発達援助

一人一人の子どもの状況に配慮した保育が展開されているか、保育にふさわしい環境が整っているかなどを評価したものです。

評価対象	評価結果
<b>発達援助の基本</b>	<p><b>計画・記録</b>            保育所保育指針を基に保育計画、指導計画が作成され、異年齢児交流や保護者の要望、地域の文化や特性などを考慮した園独自の一貫性のある計画となっています。各クラス担任により年間・月間・週案が作成されていて、3歳未満児には個別の指導計画が作成され一人一人への配慮がなされています。評価・見直しも適切に行われています。保育の記録については、継続的に記録され引継ぎが行われ、全職員に周知徹底が図られています。</p> <p><b>会議</b>            気になる子どもについてケース検討が行われ、個別に記録が作成されています。共通理解のもと継続的に検討が行われ、保育に生かされています。</p>
<b>健康管理・食事</b>	<p><b>健康管理</b>            健康管理マニュアルが作成され、適切に対応されています。日々の子どもの状態が把握されています。子どもの病状把握にあたっては視診の結果が各クラスの日誌の中に記録されています。健康管理一覧表で乳幼児健診の受診状況や罹患状況などが把握されています。予防接種や健診を受けてない子どもの保護者への働きかけがなされています。</p> <p><b>感染症</b>            感染症マニュアルが整備され、適切に対応されています。感染症発生時には囑託医からの助言や関係機関からの情報を配布したり、掲示により保護者に知らせています。</p> <p><b>食事</b>            アレルギー疾患をもつ子どもの食事については、医師の診断書を基に保護者・所長（主査）・調理員・担任の4者協議が行われ一人一人の子どもの状況に応じた代替食や除去食が提供されています。給食献立表や「きゅうしょくだより」で食に関するミニ情報を提供しています。調理員が各クラスを回り、材料や作り方などについて子どもと話しをするなど、食への意欲を高める取り組みが行われ、職員との連携も密に図られています。</p>
<b>保育環境・保育内容</b>	<p><b>保育環境</b>            平屋建てで採光もよくどの部屋からも外へ出られ、見通しの良い造りです。0・1歳児専用の外遊びスペースがあり、戸外遊びをのびのびと楽しんでいます。各クラスには遊びのコーナーが設けられ、年齢に応じた手作り玩具や牛乳パックで作ったすべり台・手押し車や椅子などの遊具や教材・絵本が豊富に整備され、子どもたちがのびのびと生活や遊びを展開しています。</p> <p><b>保育内容</b>            保育士は温かな言葉づかいでおだやかに話し、子どもからの語りかけに視線を合わせて聴こうとする姿勢がみられます。一人一人の子どもの発達や生活リズムに応じた適切な援助がなされ、徐々に生活習慣が身につくような指導がなされています。</p> <p>黒崎祇園に参加し、地域の方から太鼓のたたき方を教わり、運動会に取り入れるなど、地域の文化や特色を生かした様々な社会体験が保育に取り入れられています。リサイクル品の回収や「もの」を大切にするとエコ教育も保育の中に取り入れられています。日々の保育に、わらべうたあそびやリズムあそび、ごっこ遊びが多く取り入れられています。0歳児からの絵本の読み聞かせが積極的に行われ、遊びに発展させる工夫がなされています。絵本の貸し出しや絵本コーナーは、親と子がゆったりとふれあい、会話する場所として活用されています。</p> <p>乳児保育においては、保育士と継続的な関わりができるように努めています。手作り玩具や遊具など保育士のアイデアで遊びの場が工夫されています。乳児特有のSIDSなどの対応も適切に行われています。</p> <p><b>人権・性差</b>            車椅子バスケットボール観戦や外国の人と接する機会を捉えて、文化や言葉、生活習慣などの違いを知らせ、お互いを認め合い、助け合う気持ちを大切にされた保育の取り組みが積極的に行われています。日常保育の中で、性差への先入観や役割分業による固定的な対応をしない配慮が見られます。</p> <p><b>障害児保育</b>            療育センター・子ども総合センター・ひまわり学園との連携を取り、子どもの特性や専門機関からの意見書に基づいて、個別の指導計画が作成され、保育に取り組みられています。</p>

## 子育て支援

子育てに関する保育所と保護者との相互理解や、地域における子育て支援の取り組みなどを評価したものです。

評価対象	評価結果
入所児童の保護者の育児支援	<b>保護者との関係・虐待</b> 連絡帳やクラスノート、各種の園だより、個人懇談などとおして保護者との連携を図っています。児童虐待についても子ども総合センターなどと連携して取り組んでいます。職員は、児童虐待問題連続講座などにも参加し、研鑽を深めています。
地域の子育て支援	<b>地域支援</b> 定期的に保育所で開催される「子育て広場」などの事業や、随時の相談をおして地域の子育て支援に取り組んでいます。地域の子育て家庭に対して、絵本の貸し出しも行われています。

## 地域住民や関係機関等との連携

地域の最も身近な児童福祉施設としての役割を果たしているか、関係機関等との連携を図っているかなどを評価したものです。

地域の住民や関係機関・団体との連携	<b>地域での役割・その他機関との連携</b> 地域の関係機関などから収集した情報は必要に応じて掲示や季刊で発行の「くろさきっず」に掲載し、保護者に配布されています。地域の自治会へ、広報紙「あんなこんなメール」を配布するなど、保育所への理解を深めるための取り組みが積極的に行われています。地域の行事や祭りへの参加、エコ教育、伝承遊びなどを通して地域の関係機関や団体と連携した取り組みが積極的に行われています。また北九州市が推進している幼保小の連携事業のモデル実施園として連携のあり方について先駆的な取り組みがなされています。
実習・ボランティア	<b>実習等の受入</b> 保育実習、保育体験、ボランティアなどは積極的に受け入れ、マニュアルが整備され、それぞれについて目的に応じたプログラムが提供されています。

## 運営管理

保育に関する基本方針等が策定されているか、職員研修などの取り組みがなされているかなど、組織としての運営管理を評価したものです。

組織運営 基本方針	<b>理念・方針</b> 保育理念や基本方針が定められて必要に応じて適時見直しが行われています。地域住民や関係機関に対しては、文書の配布や掲示板を通して周知が図られています。 <b>保育の質の向上・研修</b> 保育の実践を通じた課題に対しては、プロジェクト会議を行い、検討結果は職員会議で報告・検討され、改善に取り組んでいます。保育の質向上のために、各種の研修に職員を派遣しています。
安全・衛生管理 守秘義務の遵守 情報提供	<b>守秘義務・情報・安全</b> 守秘義務の遵守や個人情報保護については、職員に周知されています。保育所運営に関する情報については、園だよりなどを中心とした各種の文書で保護者に伝えられています。地域に対しては、保育所の子どもの様子や子育て情報などを掲載した広報紙「あんなこんなメール」が配布されています。安全・衛生管理についてもマニュアルが整備され、避難訓練なども適正に実施されています。警察署とは、情報交換や危険回避のための巡回依頼の働きかけが行われ連携が図られています。